

理事会議事録

日　時：2005年10月6日(木)12:00--13:40

場　所：札幌コンベンションセンター1階　会議室1

出席者：祖父江，黒田，花岡，杉山，北本，関井，蜂巢，百瀬，田，成相，馬場，富田，浅田

欠席者：なし

有効委任状提出者：井上，和田

ほかに，東條事務長が出席した。

議　長：祖父江義明

署名人：杉山　直，花岡庸一郎

報　告

- 前回議事録の確認(資料1)

花岡理事より前回(2005年7月2日)の理事会議事録が報告され，原案どおり承認された。
- 開催中の年会について

百瀬理事より開催中の年会について，過去最大となる752件の講演で順調に進行中である旨報告があった。これに先立って10月5日に記者会見を「かでの2.7」にて報道機関5社の参加を得て開催した。
- 中教審への要望書-次代をになう子どもに豊かな科学的素養を-(資料2)

祖父江理事長より上記学会声明を中教審の会長および初等中等教育分科会長宛てに送ったとの報告があった。これについては7月22日に記者会見も行っており，すでに記事としても取り上げられている。
- その他
 - 教育フォーラムについて

祖父江理事長より，教育フォーラムの内容が教育委員会の中のみで決定・了解されていて，理事長・理事会として把握できない状態にあるので，改善したいとの提案があった。教育委員会は将来の教育フォーラムのテーマの案を理事会で承認を得るべきである，あるいは少なくとも報告をすべきである，同じ年会行事でも特別セッションは理事会に意見を求めているので同じレベルの対応ができないか，まずメールで案を流して同意を得てはどうか，などの意見が出された。結局，教育委員会はその決定を理事会に報告する，たとえば6月に決定するのであれば7月の理事会に報告するものとする，ということになった。
 - 東アジア天文台会議出席について

9月21日に国立天文台にて東アジアの中核天文台が集まる会議が開催され，東アジア地域の天文学協力を進めていくことの合意について調印が行われた。日本天文学会代表として祖父江理事長がこれに出席，スピーチを行った旨の報告があった。
 - 天文オリンピックについて

花岡理事より，科学振興事業団の援助を得て2名がオブザーバーとして今年の天文オリンピック(10月末～11月初め，北京にて)に参加することになった旨報告があった。
 - 講師派遣データベース登録進捗状況

田理事より，現在データベースへの講師の登録をお願いしているところであり，現在までに60件の登録があるが地域的に関東にかたよるなどまだ不十分な点がある，との報告があった。今後はデータベースを使ってもらうことを進めていきたい，とのことである。
 - 講演謝金

北本理事より，現在1万円としている公開講演会等の講師に対する謝礼について，あまり安いのもかえって問題があるのではないかという指摘があるため，3万円に値上げしたい，との提案がされた。理事会としては承認し，本年会の公開講演会から適用することとなった。
 - サイエンスカフェについて

杉山理事より，本年会にあわせて「サイエンスカフェ札幌」が北海道大学科学技術コミュニケーターユニット主催で開催されることについて紹介があった。研究者をゲストに招きコーヒーを飲みながら語り合うという趣旨であり，今回は天文学会も後援している。

議　題

- 新入会員の承認(資料3)

花岡理事より資料に基づき新会員の報告があり，入会が承認された。
- Asian-Pacific Journal について(資料7)

蜂巢理事・祖父江理事長より，アジア太平洋地域各国の天文学雑誌を統合して新たに Asian-Pacific Journal を立ち上げる構想が出されている件について，ジャーナルワーキンググループ委員長の H. M. Lee 氏より正式にスケジュールの提示と日本天文学会として検討するよう依頼があったことについて報告があった。Lee氏側は今年中に letter of intents の返事をもらい，最終的に2009年に発刊というスケジュールを想定している。日本天文学会としての関わり方について，PASJ編集顧問からは，PASJも発行を続け Asian-Pacific Journal の編集にも参加してはどうかという意見が出されている一方，PASJ編集委員会では二つの雑誌に真剣に取り組むのは大変である，PASJを発展的解消(PASJ を Asian-Pacific Journal へ拡大)するくらいのもつりで参加すべきである，という意見が多かったとのことである。Asian-Pacific Journal のより具体的な計画について祖父江理事長が問い合わせを行っているが，その回答によれば金銭的なことなどあまり真剣に考えられていないのでは，などとの指摘があった。PASJ を Asian-Pacific Journal へ統合した場合，学会としての存立基盤を失わないか，PASJから読者を引き継ぐことが可能か，などいろいろな検討点の指摘もあった。いずれにせよ学会が PASJ と Asian-Pacific Journal の関係をどう考えるかで Asian-Pacific Journal の内容が大きく左右されるというのが共通認識であり，学会としての態度をあきらかにするため真剣に議論を行っていく必要がある。次回の理事会までにPASJ編集委員・顧問，学会の理事・評議員などを含むメンバーリスト等で議論を進めることとなった。
- 年会実行委員の増員(資料4)

百瀬理事より，保育室担当を想定して梅本氏に新たに年会実行委員として加わってもらう旨提案があり，承認された。保育室担当は，保育室使用の申込みをもとに，業者の手配など実際の運用を行うのが仕事である。
- 年会講演数増加への対応(資料5)

百瀬理事より，今回の年会でも講演数が過去最高となるなど講演数が大変多くなってきており年会を3日間・7会場並行で行うのは無理になりつつある，対策としては会場の並列度の増加・日数の増加・講演時間短縮・全体セッションの並列化などの案があるが，今後の年会ですでに日程の決まっているものについては並列度の増加がもっとも適当な対策であろう，との報告があった。さらに長期的な対策についてはこれから議論する必要があり，次回理事会へ向けて検討を続けることとなった。懇親会についても，現在のようなやり方で開催地理事が引き受けていては大変である，との指摘があった。
- 早川幸男基金について

評議員会で，現在の早川基金の支給の仕方について検討をしてみる余地があるのでは，という指摘があったのを受けて，早川基金委員会で議論が行われ，新たに提案が行われていることについて花岡理事より報告があった。理事会としては評議員会等での議論を待つこととなった。
- 夜空を守るため高速道路上向き照明の禁止についての要望書(資料6)

祖父江理事長より，「高速道路における上向きサーチライトによる照明禁止の要望」の文案について紹介があった。要望書案を評議員会に諮ることとした。
- その他
 - 講師派遣キャンペーン広報経費について

田理事より，講師派遣データベースを宣伝し活用を促進するため，科学館等向けのパンフレットを作成し配布したい旨提案があった。カラーのリーフレットの的なものよりも公的な文書として整ったものの方が適当では，という指摘があった。また，講師派遣関連のウェブページなどについて改善点の指摘があった。
 - 次回以降の理事会日程

今回は2006年1月14日(土)11:00より国立天文台(三鷹)で開催，次々回は2006年春季年会中に開催する。

205年10月27日

議　長　祖父江義明

署名人　杉山　　直

署名人　花岡庸一郎